

令和元(2019)年度 学校関係者評価報告書

作成日：令和2（2020）年3月14日

学校法人 桑沢学園
専門 桑沢デザイン研究所
学校
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-17

専門学校桑沢デザイン研究所 学校関係者評価報告書について

専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価は、デザイン関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者、学識経験者・地域支援者を委員として選任し、本校が実施した自己評価結果に関する評価をおこなって頂くこととした。現状における課題について助言を得る貴重な機会としても位置づけ、必要な改善、学校運営や教育実践力等の向上に役立てることとする。根底に本校が従来から伝統的に取り組んできたものについてその価値を見極めて頂き、今後も継続できるよう客観的に評価して頂いた。

1. 実施日時

令和元年 12 月 9 日(月)14:00～17:30(第1回会議)

※令和2年 2 月 28 日(金)に実施予定だった第2回会議は、コロナウィルス感染防止の観点より中止とし、オンラインおよび郵送による意見交換を 3 月にかけておこない、まとめた。

2. 実施場所

専門学校桑沢デザイン研究所 A会議室他

3. 実施方法

実施組織:学校関係者評価委員会

○評価委員:

小島 和昭 委員長 : 埼玉県高等学校美術工芸教育研究会 会長

磯村 歩 株式会社フクフクプラス代表取締役

佐藤 裕介 LINE 株式会社

杉本 一二 神南宇田川町会 会長

野村 太郎 株式会社スタイルメント代表取締役

(50音別 敬称略)

○学校関係:

青山 眞 専門学校桑沢デザイン研究所副所長

遠藤 毅 専門学校桑沢デザイン研究所事務部長

米山 逸朗 専門学校桑沢デザイン研究所庶務課長

4. 学校自己評価報告書について

(a)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(b)評価項目:

次の 10 項目について実施

項目1 教育理念・目的・人材像

項目2 学校運営

項目3 教育活動

項目4 学修成果

項目5 学生支援

項目6 教育環境

項目7 学生の募集と受け入れ

項目8 財務

項目9 法令等の遵守

項目10 社会貢献・地域貢献

(c) 評価項目に対する評価

4段階評価で点数評価した。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5. 学校関係者評価報告書の作成について

上記の学校自己評価報告書を基に各項目についてまず基本評価を頂き、さらに実情を加味して討議を深めた。寄せられた意見や質疑、提案事項について項目ごとに以下の様にまとめた。

項目1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
2. 育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	③	2	1
3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1
4. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1

本校の教育理念は創立以来65年間一貫しており、人材育成、教育課程の内容とも一致している。教職員及び学生も、理念・目標について理解できている。デザインの役割とそれを取り巻く環境の変化を踏まえながら、教育理念に基づいたデザイン教育を実践し、時代をリードするデザイナーを育成するための検討を更に推し進めていくことが重要である。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・卒業生の情報収集も大切だが、入学してくる学生(特に学び直しの学生など)が何を求め、期待しているか多様なニーズを把握する必要がある。
- ・21世紀の世界の中で、新しい社会の創造に加担できる人物を育成する考えは大変良いと思う。
- ・社会ニーズ(学生の就業ニーズ)をどの様に捉え、他校との差異を明確にした上での自校のポジショニングの整理と、その可視化を望む。
- ・デザイン思考など、様々なデザインの発展系の考え方を企業活動にどのように影響しているかなど、事例などを通して伝えていくこともデザイン系の学生にとってとても大切だと思う。

項目2 学校運営

学校運営	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 理念等に沿った運営方針を定めているか	④	3	2	1
2. 理念等を達成するための事業計画を定めているか	④	3	2	1
3. 設置法人の組織運営を適切に行っているか	④	3	2	1
4. 学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	③	2	1
6. 意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1

7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1
------------------------------	---	---	---	---

本校は「桑沢学園中期ビジョン 2020」及び「桑沢学園中期実行計画 2020」に基づき適切に運営されている。組織・管理運営は、所長及び副所長が運営協議会を統括し、教学部門は教務主事により教員会議、各種委員会を、事務部門は事務部長が中心となり、部課長会議で情報を共有し適切に行われている。月に一度開催する定例の教員会議は、毎回全教員が出席して、運営に対する意識の高い意見が交わされている。

平成31年4月より施行された働き方改革への対応のため、関係規程を整備したが、教職員の労働については、労務管轄部署を中心に、適正な管理を図っていく。学校運営の充実を図るため、「教職員相互の理解」「目標・方針の共有や一致」を目指して、教職協働を進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・姉妹校の東京造形大学と桑沢デザイン研究所との事業戦略上のすみ分けの可視化を望む。
- ・学生ポートフォリオなどをオンライン化し、在学中、卒業してからなども全て繋がっていくようなシステムを作ったらどうだろうか。オンラインで授業を受けられたり、補講を受けることができたりなども考えられる。

項目3 教育活動

教育活動	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1
2. 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
3. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④	3	2	1
4. 教育課程について外部の意見を反映しているか	4	③	2	1
5. キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
6. 授業評価を実施しているか	4	3	②	1
7. 成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか	4	③	2	1
8. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1
9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	4	3	②	1
10. 資格・免許の指導体制はあるか	4	3	②	1
11. 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
12. 教育資質向上への取り組みを行っているか	4	③	2	1
13. 教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

社会のニーズを踏まえたクオリティの高い教育を展開していくためには、教員は校外での研修や、学生及び卒業生の意見を収集する仕組みも重要である。

学生による授業評価について、更に充実を図る必要がある。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・評価項目1・2と連動した目標設定・教育方法の戦略の設定を望む。

- ・目標に対して考え方が一致したら級を与えることにしたら良いのではないかな。
- ・教員における卒業生の割合が高い様に思われる。もう少し外部出身者がいても良いのではないかな。
- ・教員同士の横のつながりについては、もっと何か方法があるのではないかな？学校として一丸となるためにも何かそういうものが必要だと思う。

項目4 学修成果

学修成果	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
2. 資格・免許取得率の向上が図られているか	4	3	②	1
3. 卒業生の社会的な評価を把握しているか	④	3	2	1

就職活動を支援するためには、卒業生や企業と連携して、学生に就職への意識を高められる環境を提供できるよう、教職協働の取り組みとして組織的に進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・親が学生の送り手として出口(就職先)の明確化は知りたい部分でもある。就職率の向上は経済状況に左右される。三年間の学びが活かした就職先が重要である。
- ・資格や免許取得も分かりやすい力の一部である。美術系や実学教育には説明しづらい部分もあるが今後検討し、取り入れていく必要がある。
- ・社会に出ると様々な資格があることに気づく。桑沢在学中に最低3つは取ろうなど、お勧めする資格などをもっと学生に啓蒙してもらいたいと思う。

項目5 学生支援

学生支援	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切: 2、不適切:1			
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
2. 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
3. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 留学生に対する相談体制を整備しているか	4	③	2	1
5. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
6. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
7. 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	③	2	1
8. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
9. 保護者と連携体制を構築しているか	4	③	2	1
10. 卒業生への支援体制を整備しているか	④	3	2	1
11. 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	②	1

12. 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	③	2	1
------------------------------	---	---	---	---

経済的に厳しい世帯の学生が安心して学べるよう、令和2(2020)年4月から始まった高等教育の修学支援制度の修学支援の対象機関として認定されるよう、手続きを進めていく。

学生の学修支援には、保護者と情報共有と連携が重要だと認識しているので、学校行事や諸手続きの情報や、修学の成果である成績について、提供していく体制を検討していく。

退学率低減のため、進路選択時のミスマッチはないか、退学理由を基にそれを少しでも排除することはできないかなど、情報を収集して、教職協働の取り組みとして組織的に進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・学生が学校へ期待していた内容との齟齬はないか。
- ・留学生は社会に出た時にはもっと交流を盛んにすべき人材だ。もっと交流できる仕組みを整えてはどうだろうか。

項目6 教育環境

教育環境	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	③	2	1
2. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1
3. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

学生が自主制作を行う作業スペースや、昼食や休憩をとる共有スペースが不足している。授業時間割上の科目開講曜日・時限の調整により、授業で使用しない教室を確保できないか検討していく。

日曜・祝日に校舎の利用はできるが、図書室や常設の危険を伴う一部の機材・機器は利用できない。また、現校舎の運用開始から15年が経過したので、計画的に修繕していく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・デザイナーが手仕事を培った仕事の上で、最新のコンピュータを操作しツールとしての技術をすることが社会で求められるニーズでもある。技術屋の操作はセンスと見当がはずれている。現在においては実学の一部でもあり、カリキュラムに加えるなど一歩進める必要がある。
- ・社会貢献としての「シブヤフォント」は、フォント・パターン制作やプレゼン方法を教える場としても機能している。同事業がもっと多様な成果や効果をもたらしていることの可視化を望む。
- ・インターンはとても重要な職業体験だと思います。企業や事務所とのつながりをもっと持つべき時代になった。学生からのレポートなどを後世に残す上でも積極的に学校運営に取り込むべき。私の会社も他校から3ヶ月受け入れていたが、素晴らしい関係性を作れた。

項目7 学生の募集と受け入れ

学生募集受け入れ	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
2. 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	④	3	2	1
3. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
5. 経費内容に対応し学納金を算定しているか	4	③	2	1
6. 入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

学生の受け入れ募集活動は、おおむね適正に行われている。夜間部開講のデザイン専攻科では、学び直しを望んでいる社会人が求めている専門教育の充実と修学環境の整備、そして「何ができるようになるのか」を明確に発信することが重要であり、そのためには、効率的な募集戦略を視野に入れ、ターゲットを設定した広報活動を展開していくことが課題である。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・大学を卒業してからデザイン専門学校に来るという選択を桑沢デザイン研究所のブランディングとして行うべきなのではないかと思うのだが。

項目8 財務

財務	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 学校及び法人運営の中期的な財務基盤は安定しているか	4	③	2	1
2. 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④	3	2	1
3. 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1
4. 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
5. 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
6. 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1

本学園では、継続的な経営・運営を行うための基本指針として、「桑沢学園中期ビジョン 2020」及び「桑沢学園中期実行計画 2020」を策定し、本校における具体的な実施項目として、教育課程の再編計画を検討している。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・特にご意見はありませんでした。

項目9 法令等の遵守

法令等の遵守	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
1. 法令や専修学校設置基準を遵守し適正な学校運営を行っているか	④ 3 2 1
2. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④ 3 2 1
3. 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか	4 ③ 2 1
4. 自己評価結果を公表しているか	4 ③ 2 1
5. 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4 3 ② 1
6. 学校関係者評価結果を公表しているか	4 3 2 ①
7. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4 ③ 2 1

法令等の遵守関連省庁への届出をはじめ、適正な運営に努めている。

学校関係者評価の実施及びその結果の公表については、令和元(2019)年度中に体制を整え実施し、令和2(2020)年度中に公表していく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

・特にご意見はありませんでした。

項目10 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
2. 国際交流に取り組んでいるか	④ 3 2 1
3. 学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援を行っているか	4 3 ② 1

本校では、デザイン教育の独自性及び特徴を明確にし、その機能を最大限に発揮するために、社会連携・貢献の強化および国際交流の推進を「学校法人桑沢学園 中期ビジョン 2020」の重点項目として掲げている。平成29(2017)年には、社会に向けた教育事業の発信及び振興促進を目的として、「クワサワ・クリエイティブ・ハブ協議会」を発足し、イベントやコンペティションの立案、国際交流事業の取り組み、学生ボランティアに関する事項等について審議している。同協議会の活動として行っている「全日本高校生デザイングランプリ」は、高等学校との接続教育の一環として行われ、デザイン教育の普及に貢献している。また、渋谷区内の障害者支援施設との協働事業として取り組んだ「シブヤフォント」のプロジェクトに本校学生が参加するなど、学生が社会連携事業に積極的に関わる機会を提供している。

同協議会の活動は、学生の社会性が醸成されるとともに、地域社会の課題解決や発展に寄与しており、今後も教育と地域貢献に資する取り組みを中心とした社会連携のための支援体制の整備と、新たなプロジェクトの実現に向けた検討を進めていく。また、国際交流においては、バウハウス・デッサウ財団との連携を継続し、バウハウスの理念・思想に基づく事業を展開していく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・「シブヤフォント」は本校の社会貢献と位置づけられているが、学生へのグラフィックデザインスキル、プレゼンスキルなどの教育的観点、学生のボランティア活動、企業による商品化プロセスを体現しうる学外授業など、多彩な意義があるものとして、再解釈を望む。またグッドデザイン受賞などの成果も鑑み、「シブヤフォント」に対する本校の教育資源や施設の提供の検討を望む(担当教員の任命、授業化など)。
- ・渋谷区では毎月第1火曜日ハチ公前に14時集合清掃活動をしているので学生に参加を呼び掛けてみる。

6. 学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告内容は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

令和2年 3月 14 日

専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価委員会

【学校関係者評価委員会】

委員長(教育に関し知見を有する者)

小島 和昭〔埼玉県高等学校美術工芸教育研究会 会長〕

委員(デザイン関連業界等関係者)

磯村 歩〔株式会社フクフクプラス代表取締役〕

委員(卒業生)

佐藤 裕介〔LINE 株式会社〕

委員(学識経験者・地域支援者)

杉本 一二〔神南宇田川町会 会長〕

委員(デザイン関連業界等関係者)

野村 太郎〔株式会社スタイルメント代表取締役〕